

stereo

2024
04

特集

オーケストラを楽しむ



オーケストラ再生術 | オケ盤で聴く、小型スピーカー試聴
筆者が選ぶ、オケ盤この1枚 | 長岡鉄男のオケ盤 | Best Of 小澤征爾

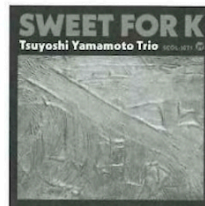


stereo DISC COLLECTION

林 正儀

神成配置で編集は一切なしの一発録り
伝説のTBMタッグ渾身の挑戦的なアルバム

スウィート・フォー・K
山本 剛トリオ

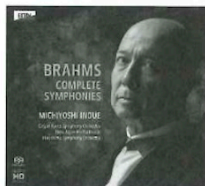


SOMETHIN' COOL
(取扱:ディスクユニオン)
SCOL-1071
¥3,300 / 3月6日発売

山本 剛とTBMの元エンジニア神成芳彦との第2弾になる。「フォー・K」は神成だ。今回はより音響にこだわって、那須のプライベートスタジオから銀座の音響ハウスに変わった。かつてTBMレーベルでもレコーディングを行なった名スタジオで、選曲はエロール・ガーナーを中心としたバラッド集だ。山本らしさで統一されたスリリングなサウンド。ドラムスをベースに、ベースがピアノのすぐ後側にくる神成配置で、編集は一切なしの一発録り。みずみずしい鮮度と空気感は驚くほどで、アナログ録音のような肌あいを体感させる。ピアノソロによる「ソリティア」は特に必聴だ。

“伝えたい”という圧倒的な熱量を浴びたい
ラストイヤーを飾る井上の希少な名演

ブラームス:交響曲全集



●井上道義指揮 京都市交響楽団、
新日本フィルハーモニー交響楽団、
広島交響楽団

オクtavia・レコード
OVCL-00772(2枚組)
¥7,700 / 2月21日発売

井上道義、一期一会のブラームス・ライブ。ブラームス交響曲を4曲まとめてレコード化するのは初めてだろう。エクストンの勧めもあり京都市、広島交響楽団、新日本フィルとのライブ収録による交響曲全集がリリースされたのは、井上ファンにとって希少中の希少。2024年末に引退を公表しているだけに聴き逃せないアルバムとなった。ホールによる響きの違いもそうだが、まずは“伝えたい”という圧倒的な熱量を浴びてほしい。第1番は緊迫感の中にも室内楽のような透明なテクスチャーを聴き、第4番は厚手で濃厚なロマンティズムに浸りたい。解説も立派なHQハイブリッド2枚組。

音域の広さとヴォーカルテクニックが抜群!
サラ独自の世界をうかがわせる最新作

There is no Future
サラ・アルデン (Vo)



Prophone(取扱:コーシン)
PCD312
オープン価格 / 3月22日発売

今期のプロフォン盤は、ヨーテボリを拠点にスウェーデンのジャズシーンで活動するサラ・アルデンだ。“生と死についてのジャズ”をコンセプトに、「There is no Future(未来なんてない)」など自身のオリジナルや、アメリカのジャズ・クラシックから選んでいる。スタンダードナンバーの「ミスティ」「いつか王子様が」「この素晴らしい世界」などなど。ベダルオルガンやハーブも入った多彩な構成で、音域の広さとヴォーカルテクニックが抜群。透き通るようなフォークトーンがルーツになっており、やさしさと美しさ、そして力強さのあるヴォーカルがサラ独自の世界をうかがわせる。

歯切れのよいチェザレのプレイに注目
ファラオのトリオをバックに縦横無尽のソロ

ラブ・フォー・セール
チェザレ・メッカ (Tp)



ヴァーナレコード
VHGD-10009
¥4,950 / 2月21日発売

イタリアのジャズトランペッター、チェザレ・メッカ。27歳である。いやあ、すごい新人がいたものだ。ゲストで何曲かマッシモ・ファラオ(Pf)と共演しているが、これは本邦デビューとなるスタンダード曲集だ。タイトル曲の「ラブ・フォー・セール」をはじめ、9曲すべてが恋の歌。昨年10月のトリノ録音で、ファラオのトリオをバックに縦横無尽のソロを展開する。「恋とは何でしょう」から、歯切れのよいチェザレのプレイに引きつけられっぱなしだ。澄みきった空気の中に溶け込むようで、艶やかなトランペットの音色とともに奏でられるバラード演奏も聴きどころのSACDハイブリッド盤だ。

今月の特選盤

今月の話題盤(マシソン)

今月の話題盤(コーシン)

今月の話題盤(ヴァーナレ)

今月の話題盤(ディスクユニオン)